

【8月・0歳児・高月齢】

ほいくのおまもりプラス

	Aさん(高月齢／男児／活発) (1歳4カ月／4月生まれ)	Bさん(高月齢／女児／活発) (1歳3カ月／5月生まれ)	Cさん(高月齢／男児／静か) (1歳2カ月／6月生まれ)	Dさん(高月齢／女児／静か) (1歳1カ月／7月生まれ)
子どもの姿	1.「まだ遊びたい」「もっと食べたい」といった思いや要求を、激しく泣くことで表現する姿が見られた。 2. ままごとコーナーで、カップや皿にお手玉やチェーンリングを入れて楽しむ様子が見られ、保育者がそれらを食べるしぐさをする、一緒に食べるまねをしていた。 3. 水遊びでは、ペットボトルの下半分を切って作ったシャワーを気に入り、頭の上からかけてもらって喜んでた。	1. 着脱に協力しようとして進んで手足を動かしたり、自分でスポンを引上げようとする姿が見られた。 2. 水遊びに慣れてきた様子が見られ、自らタライの中の水に手を入れて、感触を味わっていた。 3. リズム遊びや体操では、自分なりに体を動かして楽しんでた。		
ねらい	1. 思いや要求を受け止めてもらいながら、安心して過ごす 2. 保育者と一緒に見立て遊びを楽しむ	1. 楽しみながら簡単な着脱に取り組む 2. 様々な素材に触れ、感触の面白さや不思議さに気づく		
内容	1. 泣いたり自分なりの言葉やしぐさで、してほしいことや甘えたい気持ちを表現し、それらを保育者に丁寧に受け止めてもらう中で安心して、徐々に気持ちを切り替えていく。 2. 保育者の見立て遊びに興味を持ち、自分なりにまねして遊んだり、やり取りを楽しむ。	1. 衣服や水着の着脱の際に、保育者の声かけに合わせて手足を動かしたり、簡単な動作を自分で行うことで、できた喜びを感じる。 2. 自分のペースで水や氷、泡に触れて遊び、感触の面白さや不思議さを保育者に言葉で代弁してもらう。		
環境構成 配慮 援助	1. 本児なりに思いを表現する姿を受け止め、「○○しかったんだね」と丁寧に言葉で返しなが、思いが伝わったという安心感を味わえるようにする。気持ちの切り替えがしやすいよう、抱っこなどのスキンシップを取ったり、必要に応じて場所を移動するなど、職員間で連携しながら柔軟に対応していく。 2. ままごとコーナーには、扱いやすい玩具や道具、安全に座れる椅子や低い机を配置し、落ち着いて遊べる環境を整える。本児なりに遊ぶ姿に寄り添いながら、食材に見立てた素材を鍋に入れてかき混ぜる様子を見せたり、皿に移し替えて「今日のおやつですよ」「お茶どうぞ」と声をかけることで興味を引き出し、やり取りを楽しめるよう関わっていく。	1. 着脱を行う際は、焦らずに見守れるよう、一対一や少人数で時間に余裕を持たせて誘う。保育者が「ここに手を入れようね」「足を入れようね」「一緒に引っ張ってみよう」などわかりやすく動作を伝え、できたときには「できたね」と目を見て声をかけ、喜びや達成感を味わえるようにする。 2. 色水や氷、泡を少量ずつ入れた透明カップを十分に用意し、自ら興味を持って触れられる環境を作る。口や目に入れないよう注意しながら見守り、保育者も一緒に触ったりカップから出して遊びながら、「きれいだね」「冷たいね」「ふわふわだね」と声をかけて、感触の面白さや不思議さを伝え、好奇心を育む。		
食事	(完了食) ・スプーンで食材をすくえたときには、「できたね」と声をかけながらその姿を大いに認め、次への意欲につなげる。 ・見た目で食材を拒否するようになったため、気持ちに寄り添いながら保育者が食べて見せたり、好きなおかずと組み合わせさせて食べられるよう配慮し、徐々に慣れていけるようにする。	(完了食) ・暑さにより食欲が落ちているため、提供する量や食材の大きさを調整し、無理なく食べ進められるよう配慮する。 ・「食べさせてほしい」という甘えを受け止め、「お手伝いしようか」「どれを食べようか？」と優しく声をかけながら介助し、食べる意欲を引き出す。		
家庭との連携	3. 家庭にある材料で作れる手作り玩具を紹介し、家庭での遊びが広がるきっかけとなるようにする。 ・目の赤みや水いぼなど、普段と異なる様子が見られた場合は保護者と情報を共有し、必要に応じて受診を勧めることで、症状の悪化を防ぐ。	3. リズム遊びや体操を通じて様々な動きを楽しむ様子を具体的に保護者に伝え、家庭でも体を動かす遊びのきっかけとなるようにする。 ・長期休暇明けからしばらくの間は、体調の変化に十分留意し、無理なく過ごしながら生活リズムを整えていけるよう援助する。		
評価・反省	1. 保育者との一対一の関わりの中で気持ちが落ち着き、遊びや次の活動へ向かう様子が見られた。家庭でも自己主張が強く、保護者が対応に戸惑う場面があるとのことから、今後も様子を伝え合いながら、丁寧に関わっていく。 2. 保育者や年上の友だちの見立て遊びに興味を示し、意欲的にまねで楽しんでた。友だちとのやり取りには言葉を添えて仲立ちし、遊びが広がるように関わっていく。	1. 保育者に促され、衣服を引っ張って頭を出したり、スポンを上げようとするなど、意欲的に取り組む姿が見られた。まだ難しい部分が多いため、励ましの声をかけながらさりげなく援助し、意欲を育んでいく。 2. 最初の内は嫌がっていたが、「ジュースですよ」と色水に氷を入れたカップを渡されると気に入、その後は十分に感触を楽しむことができた。本児のペースを尊重しながら、様々な素材の感触を楽しめる環境を整え、五感の発達を促していく。		

無料版：2名分
↓
有料版の
"おまもりプラス"
は12名分が
閲覧＆DL可能！

子どもの姿の1, 2は『ねらい／内容／環境構成・配慮・援助／評価・反省』、3は『家庭との連携』と運動しています。

敬称と性別表記：ウェブサイトにも当社方針を記載しております。

ほいくのおまもり Plus!

ダウンロードのお礼とおまもりプラスについて

この度は個人案をダウンロードいただき、ありがとうございます！

ほいくのおまもりプラスでは、**性別／タイプ別／月齢別の12名分の個人案（0,1,2歳児）**をご用意しています。更に・・・

- **無料版の2倍の月案文例**
- 丸1ヶ月分の月～金の全ての週案
- 毎月45個の製作型紙
- 毎月2つのスケッチブックシアター
- その他、会員だけのコンテンツ

これだけ揃って、**月額980円＋税**の大特価！気になる人は、以下からおまもりプラスのサービスを確認してみてくださいね。



文例ご利用時の注意事項

- 提供される文例は、一般的なケースを想定して作成されています。ご自身の具体的な状況やニーズに合わせて適宜修正を加えてご利用ください。
- 文例の利用によって生じたいかなる結果についても、当サービスは責任を負いかねます。自己責任においてご使用ください。
- 文例は参考としてのみご利用いただき、直接のコピー＆ペーストではなく、ご自身の言葉で表現を加えることをお勧めします。
- 法的な文書や重要な契約に関する文面は、専門家のアドバイスを受けて作成することをお勧めします。
- 文例の著作権は当サービスに帰属しています。無断での再配布や商用利用はご遠慮ください。